



2023年10月12日

各 位

会社名 松竹株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 敏弘
(コード番号 9601 東証プライム、札証、福証)
問合せ先 上席執行役員 尾崎 啓成
(TEL 03-5550-1699)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年4月14日に公表した通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 2024年2月期通期連結業績予想の修正 (2023年3月1日～2024年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	92,460	2,230	1,380	1,000	72.80
今回修正予想 (B)	87,730	1,300	130	1,870	136.10
増減額 (B-A)	△4,730	△930	△1,250	870	
増減率 (%)	△5.1	△41.7	△90.6	87.0	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	78,212	△776	1,359	5,484	399.90

(2) 2024年2月期通期個別業績予想の修正 (2023年3月1日～2024年2月29日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	52,510	300	210	15.20
今回修正予想 (B)	51,300	400	2,530	183.09
増減額 (B-A)	△1,210	100	2,320	
増減率 (%)	△2.3	33.3	1,104.8	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	44,723	2,780	6,827	494.27

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由について

2024年2月期通期連結業績に関しましては、個別業績予想は上方修正となるものの、主に子会社の株式会社松竹マルチプレックスシアターズによる映画館事業において、8月に発生した台風7号による浸水被害により一部の映画館が休館となり営業再開の目途がたっていない事やハリウッドでのストライキにより海外作品の公開延期や中止のリスク等もあり下期の全国映画興行収入が低調に推移すると見積もっている事等を踏まえ、売上高、営業利益は前回公表した業績予想を下回る見込みとなりました。上記要因に加え、当社の持分法適用会社であるBS松竹東急株式会社においてBS放送での視聴者数は順調に伸びているものの、広告売上の伸びが当初想定した水準に比べ緩やかであることにより、持分法による投資損失が増加し、経常利益は業績予想を下回る見込みです。一方で、2023年8月16日の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上額確定のお知らせ」に記載のとおり、上場株式を売却し、特別利益を計上したことに伴い、親会社株主に帰属する当期純利益は前回公表した業績予想を上回る見込みとなりました。

(2) 個別業績予想の修正理由について

2024年2月期通期個別業績に関しましては、「滝沢歌舞伎ZERO FINAL 映画館生中継!!」の大ヒット等があり順調に推移しており、経常利益が業績予想を上回る見込みとなりました。また、上記の上場株式の売却により、当期純利益も業績予想を上回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上